広報ふじかわ

編集 富士川町役場内庶務課広報係
発行人 静岡県庵原郡富士川町 助役 中川国兵
印刷所 富士川町旭町 望月印刷所 電話（岩渕）304番

統計メモ

昨年十月一日の国勢調査の人口概数が総理府統計局よりわが国総人口は、九三、四〇六、八三〇人となりました。この結果、わが国人口は、中国、インド、ソ連、米国について世界で第五位を占めております。第一の人口は、東西ドイツの約一・三倍、英国の約二・一倍、フランスの約二・一倍となります。わが国はオランダ、ベルギーと共に世界でも人口密度の高い国にかぞえられるが人口密度は一平方粁当り二五三人になります。

三十六年度 一般会計予算など決る
総額九千三百八十八萬円

三月定例町議会は三月十日役場会議室で開かれ「昭和三十六年度富士川町歳入歳出予算について」他十一議題が提案された。

当日午前中町長の「予算についてのあらまし」が説明され、午後は新幹線問題の協議会が開催されたので議会は休会となり、三月十六日午前九時三十分より再開、翌十七日の午後七時まで、二日半に亘って十二の議案について慎重審議を重ね、全議案とも原案通り可決決定しました。

三月定例議会に上程された議案は左記の通りです。

日程第一 昭和三十六年度富士川町歳入歳出予算について
日程第二 昭和三十六年度富士川町国民健康保険特別会計歳入歳出予算について
日程第三 昭和三十六年度富士川町奨学金特別会計歳入歳出予算について
日程第四 昭和三十六年度富士川町町営上水道事業特別会計歳入歳出予算について
日程第五 昭和三十六年度富士川町町営簡易水道特別会計歳入歳出予算について
日程第六 議務負担の伴わない寄附金の受領について
日程第七 一時借人金について
日程第八 富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
日程第九 単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例設定について
日程第十 富士川町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第十一 富士川町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
日程第十二 富士川町職員定数条例の一部を改正する条例について

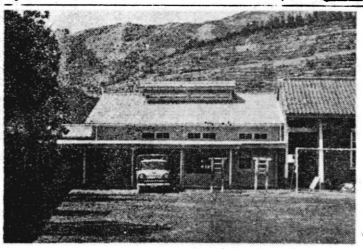
第一小給食施設完備

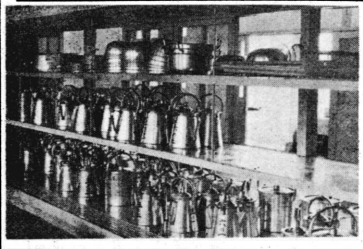
既に第十五号でお知らせしました通り、第一小学校の給食施設は去る三月九日完成、落成式を挙行致しました。

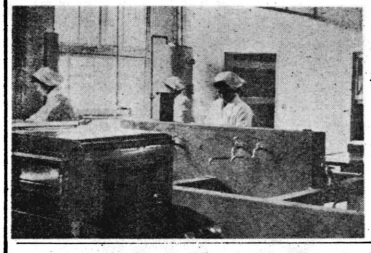
この給食室は鉄骨スレート葺平屋建、建坪一八二平方米で、去る十二月十五日「町内竹島建設工業株式会社と東海理機株式会社が請負い、総工費四、三六六、六〇〇円をもって完成されたものです。

この給食施設により第一小学校児童一、二六〇人に給食する訳で三月十三日より栄養士一名、給食婦五名を採用して給食を実施しました。

（写真は完成した給食室）







昭和36年度富士川町歳入歳出予算 会計別総括表

会計別	本年度予算額	前年度予算額	比較 増	比較 減
1 一般会計	93.880.000	68.130.000	25.750.000	
2 国民健康保険特別会計	13.708.150	11.929.350	1.778.800	
3 奨学金特別会計	307.200	377.200		70.000
4 町営上水道事業特別会計	6.531.800	29.000.000		22.468.200
5 町営簡易水道特別会計	776.000	768.000	8.000	
合計	115.203.150	110.204.550	4.998.600	

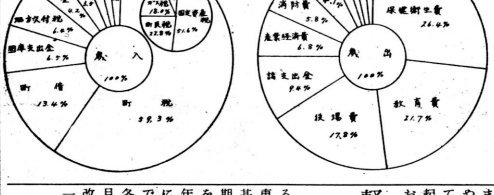
昭和36年度富士川町歳入歳出予算 総括表

歳入

款別	本年度予算額 金額	本年度予算額 %	前年度予算額 金額	前年度予算額 %	比較 増	比較 減
1 町税	55.628.700	59.3	53.018.500	77.8	2.610.200	
2 地方交付税	6.000.000	6.4	4.000.000	5.9	2.000.000	
3 公営企業及び財産収入	3.312.755	3.5	385.400	0.6	2.927.355	
4 使用料及び手数料	2.055.500	2.2	1.877.000	2.8	178.500	
5 国庫支出金	6.086.860	6.5	1.320.700	1.9	4.766.160	
6 県支出金	841.000	0.9	2.008.000	2.9		1.167.000
7 寄附金	3.969.300	4.2	2.560.400	3.8	1.408.900	
8 繰入金	1.960.885	2.1	0	—	1.960.885	
9 繰越金	500.000	0.5	500.000	0.7		
10 雑収入	960.000	1.0	460.000	0.7	500.000	
11 町債	12.565.000	13.4	2.000.000	2.9	10.565.000	
歳入合計	93.880.000	100.0	68.130.000	100.0	25.750.000	

歳出

款別	本年度予算額 金額	本年度予算額 %	前年度予算額 金額	前年度予算額 %	比較 増	比較 減
1 議会費	1.561.100	1.7	1.390.600	2.1	170.500	
2 役場費	16.692.300	17.8	14.038.700	20.4	2.653.600	
3 消防費	5.432.000	5.8	3.511.200	5.1	1.920.800	
4 土木費	4.443.000	4.7	9.247.000	13.6		4.804.000
5 教育費	20.381.870	21.7	15.980.970	23.5	4.400.900	
6 社会及び働く生活施設費	1.610.700	1.7	4.018.500	5.9		2.407.800
7 保健衛生費	24.804.600	26.4	1.964.400	2.9	22.840.200	
8 産業経済費	6.380.500	6.8	6.934.400	10.2		553.900
9 財政調査費	586.715	0.6	474.542	0.7	112.173	
10 統計費	93.000	0.1	218.000	0.3		125.000
11 選挙費	508.300	0.6	528.200	0.8		19.900
12 公債費	2.166.509	2.3	2.003.688	3.0	162.821	
13 諸支出金	8.820.000	9.4	7.419.800	10.9	1.400.200	
14 予備費	399.406	0.4	400.000	0.6		594
歳出合計	93.880.000	100	68.130.000	100	25.750.000	



本年度一般会計予算には大きな事業としては「し尿処理施設の建設」「第一中学校増築問題」などがありますが、これらは国の補助や起債の許可などと相俟って行なわれるので、補助や起債の決定後計画についてお知らせすることとします

軽自動車税 納期限を延期

四月一日を賦課期日とする原動機付自転車、軽自動車の定期分納税は、条例に基き、毎年四月三十日を納期限として徴税合書の発行をしてまいりましたが、本年は地方税法の一部が改正となる見込みであるますので、軽自動車税徴税合書の各家庭へ配布されるのは六月の予定です。

改正される見込みの税率は、軽自動車税

二輪のもの年額千五百円（現行千五百円）

三輪のもの年額二千円（現行千五百円）

四輪のもの乗用、年額三千円（現行千五百円）

貨物、年額二千五百円（現行千五百円）

原動機付自転車の税率は変らない見込みです。

なお三公社の所有する軽自動車に対する非課税規定は廃止される見込みです。

町議会議員 手島伊之助氏逝去

町議会議員手島伊之助氏は兼ねて病気療養中のところ、薬石その効なく去る四月二日深更逝去されましたので、ここに謹しんでお悔み申し上げます。

手島氏は大正十四年土木建築請負業手島組を創設し幾多の土木建築事業を施行完成されました。

大正十四年松野村議会議員に当選以来六期二十二年更に当選以来松野両町村合併後も引続いて町議会議員として一期四カ年、あわせて七期二十六年の長きに亘って地方自治のため貢献されました。

その功績は高く評価されて昭和二十九年には自治功労者として県町村議会議長会の表彰、翌三十年には同じく自治功労者として全国町村議会議長会の表彰、昭和三十二年には地方自治法施行五周年に当って再度全国町村議長会表彰を受けるなど数々の栄誉に輝いたのであります。

今や町議会の長老として円熟した才腕に期待するところが大きかったのに、誠に痛恨の極みであります。

生前の手島氏の面影をしのび、謹しんで弔意を表します。

納税奨励金の交付方法変る

納税組合の奨励金は税目別納期毎に交付しておりましたが昭和三十六年度から年一回の交付に変りました。

◎固定資税第一期分の納期限は四月三十日です

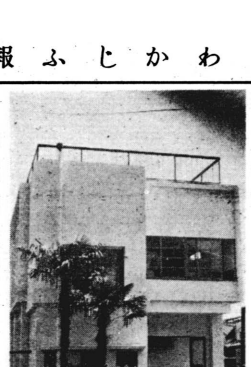
富士美台公民館落成

―川坂・堺町部落の―健民活動みのる―

川坂、堺町部落が昭和三十五年度の静岡県健民運動協会から推進地区として指定を受け―「公民館を中心とした部落づくり」―の課題を掲げて、推進活動を展開して来たが、このほど課題の第一の公民館の建設がめでたく成功した。

これを完成した部落民の一致協力はまことに貴い百年の大計であつたことが何とが期待できる。

斎藤知事特に「和合同心」のへん額の文字を揮毫して部落に贈られたことも大集会場以外に老人の部屋を始め調理のための流し、湯殿、寝室にもなる小部屋と部落等、部落の公民館としての機能をよく備えているところが大きな特色である。



これが完成した部落民の人々の善意の向上に大きな民運動研究大会が静岡市産業会館で行なわれたが、伊東市他三つの指定地区の研究発表の一つに指定され、今日までの経過が発表された江風を一眺に納められるこの公民館が、今後部落民の教養の場となり、リクエーションの場となつて、大事な部落づくりの役目を果すことを期待します。

富士美台公民館は町内既設の公民館とは異つたいくつかの特色をもつている。

木造昇降口十三年A組、平、計一四六R組と音楽堂を昨年十月室図書室に十二日から着使用される工、約五カ月の期間をもつ装成つた第二中学増築の手によつて建設され、去る三月六日生徒数の増加　竣工をみて に伴なつて、現地に於いて 普通教室の不 て落成式を足を解消する 挙行しました。 ため、昭和三 この四教室 十五年度事業 は三月七日 として鉄筋コ 以降使用を ンクリート二 開始し、三 階建校舎四教 十六年度は 室一三六坪、 三年A組、 坪、計一四六 R組と音楽 坪を昨年十月 室図書室に 十二日から着 使用される 工、約五カ月 （写真は新 の期間をもつ 装成つた第 二中学増築 部分）

広報に関する世論調査まとまる

去る二月町内二百五十名の男女成人者を対象に広報に関しての世論調査を実施しましたが、多数の回答をおよこされました。

百五十名の男女成人者を対象に広報の紙上でお礼申し上げます。

当町広報の内容は次の通りです。

時に役立つている」という今後信頼される時報にしてゆくつもりです。

「大変ためになるので今後も続けるように」「月一回以上は発行してほしい」や「投稿欄を設けてほしい」と要望事項もいただきました。

投書欄については前号でもお願いしました通り、ドシドシ投稿されることをお待ちしています。

アンケート集計結果

調査票配布数　三九九

〃　回収数　二四九

〃　回収率　六二・四％

抽出方法　基本調査率名簿無作為抽出

問一、あなたは富士川町の次の広報について知っていますか

①無線広報施設　知っている　一〇〇％　知らない　〇％

②広報ふじかわ　知っている　九一・二％　知らない　四・八％

③回覧広報　知っている　八八・八％　知らない　四・八％

問二、あなたは無線広報の放送を聞いていますか

毎日聞いている　五四・六％

時々聞いている　四一・〇％

ほとんど聞いていない　四・〇％

全然聞かない　〇・四％

◇無線広報はあなたにどういう役に立ちますか

時間がわかつて都合がよい　七八・〇％

広報事項がすぐわかつて生活上便利だ六三・四％

火災等緊急災害時に役立つている　七八・六％

子供の教育に役立つている　三〇・七％

朝の音楽は気分を爽快に夜の音楽は気分を静める　四三・三％

◇あなたは家にいて無線広報の放送が聞えますか

よく聞える　二二・一％

どうやら聞える　一六・一％

ラジオやテレビが鳴つていなければよく聞える　二一・三％

耳をすませてもよく聞えない　二・四％

自動車などでやかましくて聞えない　四・〇％

音は聞えるが云うことはつきりわからない　二六・七％

全然聞えない　〇・八％

不明　〇・四％

◇放送について適切だと思いますか

適切だと思う六二・六％

適切と思わない六・四％

わからない　一三・三％

記入なし　一七・七％

◇放送のアナウンサーについて

全然聞かない　〇・四％

男がよい　一六・九％

女がよい　三五・七％

どちらでもよい　四二・八％

記入なし　三・六％

問三、広報ふじかわについて

◇町で出している広報ふじかわをお読みになつたことがありますか

来る度に読む五五・一％

時々読む　三七・四％

ほとんど読まない　五・七％

全然読まない　〇・九％

記入なし　〇・九％

（読まない人に伺います）

なぜ読まないのですか

家に来ないから六・七％

面白くないから　二・三％

ひまがないから　一三・三％

来たのを気がつかないから　一三・三％

自分で買うから　四〇・〇％

その他　二六・七％

第二中校舎増改築成る

投稿

婦人学級によせて

土井せつ

「次の世代のれて「給料二倍」の掛声が成長と婦人の深かかつただけで自分がすつい英知を」これは第十三回ある錯覚に喜こび、月にロ を迎えた今年の婦人週間のスローガンです。この十数年の間に民主々義のおかげで、私共は自分と云うものの自覚を得、たとえ頭の中だけであるとしても民主々義と云うものの理解がされておりますが、さて実際の生活は相変らず物を考える暇なく、時間を金銭に換算して生きる雑然とした忙しさに追われております。

一方新聞、ラジオ、テレビで毎日聞かされる刺戦的な色々にすつかりゲン惑さ

ケットが飛んだときけば、あと四、五年もしたら自分も行けるような気がする。

貧しいきびしい生活が自分のものであるのに、その生活に何より役立つことに困つていることを正しく解決していくことだと思います。

婦人学級の勉強は単なる修養のためではなく、自分の生活にまつわる諸問題を解決する力をつける、生活する技術を学ぶ、これからそれを作る善い人間関係など生き

ありとの好景気の波の中に ケットが飛んだときけば、 年の間に民主々義のおかげ あと四、五年もしたら自分 で、私共は自分と云うもの も行けるような気がする。 の自覚を得、たとえ頭の中 貧しいきびしい生活が自 だけであるとしても民主々 分のものであるのに、その 義と云うものの理解がされ ことにはすつかり不感症に ておりますが、さて実際の なつていると云う事実を考 生活は相変らず物を考える えさせられます。自分の生 暇なく、時間を金銭に換 活の実際と現実の世の中と 算して生きる雑然とした忙 の間につながりを持たせる しさに追われております。 それがつなげなければほん とうの自分の幸な生活はあ りえないと思います。

私共婦人会が先年度文部省の助成も得て婦人学級開設に踏出しましたが、私共自身のなまの生活となまの世の中との間のズレを埋めること、つなげることに一つの足掛りを考えて始めたのでございます。

学習の集りとは、婦人学級の場合「婦人達が幸な生活を築いてゆくための新しい文化を創造していくためのもの」と掲げられていますが、それには先ず今日今の生活に何より役立つことに困つていることを正しく解決していくことだと思います。

婦人学級の勉強は単なる修養のためではなく、自分の生活にまつわる諸問題を解決する力をつける、生活する技術を学ぶ、これからそれを作る善い人間関係など生き

た勉強がねらいなのです。

私共の一番大切な子供を正しく育て家計をやりくり生活を高めていく力を一人一人がしつかりと自分のものにすることだと思います。

先年度はまだ計画が不十分であり、又学習の心構えも出来ていませんでしたので、不徹底に終りましたが三十六年度は婦人会活動の中心をこの婦人学級に傾けて参りたいと思います。

「レジャーブーム等と派手な言葉で、心だけ浮き浮きさせる愚に落ちず、私共は忙がしいから貧しいからその解決のために学習を持つ必要を考えます。

「深い英知」には今はなかに及ばずとも、確実な生活に根ざした勉強はそこにつながる道だと考えます

広報に関する世論調査まとまる

二つについて伺いました。

無線広報の一番役立つているのは「火災等緊急災害時に役立つている」という今後信頼される時報にして回答であり、次に「時報」でした。

火災の場合「早く放送をしてほしい」という意見もありましたが、夜間は第一にサイレン、第二に放送という順序に従つて放送するよう要望されるが、夜の音楽ともに時々変えて放送するよう要望されるが多いので、今後毎月音楽の内容を変えて放送することとします。

広報ふじかわについては発刊以来十七号でまだ日は浅く、編集方法、発行回数内容共に不十分な点も多いと思います。回を重ねる毎に一歩一歩の成長をはかつてゆくつもりです。

ご意見、ご要望事項の内容共に不十分な点も多いと思います。回を重ねる毎に一歩一歩の成長をはかつてゆくつもりです。

「大変ためになるので今後も続けるように」「月一回以上は発行してほしい」や「投稿欄を設けてほしい」と要望事項もいただきました。

投書欄については前号でもお願いしました通り、ドシドシ投稿されることをお待ちしています。

アンケート集計結果

調査票配布数　三九九

〃　回収数　二四九

〃　回収率　六二・四％

抽出方法　基本調査率名簿無作為抽出

問一、あなたは富士川町の次の広報について知っていますか

①無線広報施設　知っている　一〇〇％　知らない　〇％

②広報ふじかわ　知っている　九一・二％　知らない　四・八％

③回覧広報　知っている　八八・八％　知らない　四・八％

問二、あなたは無線広報の放送を聞いていますか

毎日聞いている　五四・六％

時々聞いている　四一・〇％

ほとんど聞いていない　四・〇％

全然聞かない　〇・四％

◇無線広報はあなたにどういう役に立ちますか

時間がわかつて都合がよい　七八・〇％

広報事項がすぐわかつて生活上便利だ六三・四％

火災等緊急災害時に役立つている　七八・六％

子供の教育に役立つている　三〇・七％

朝の音楽は気分を爽快に夜の音楽は気分を静める　四三・三％

◇あなたは家にいて無線広報の放送が聞えますか

よく聞える　二二・一％

どうやら聞える　一六・一％

ラジオやテレビが鳴つていなければよく聞える　二一・三％

耳をすませてもよく聞えない　二・四％

自動車などでやかましくて聞えない　四・〇％

音は聞えるが云うことはつきりわからない　二六・七％

全然聞えない　〇・八％

不明　〇・四％

◇放送について適切だと思いますか

適切だと思う六二・六％

適切と思わない六・四％

わからない　一三・三％

記入なし　一七・七％

◇放送のアナウンサーについて

全然聞かない　〇・四％

男がよい　一六・九％

女がよい　三五・七％

どちらでもよい　四二・八％

記入なし　三・六％

問三、広報ふじかわについて

◇町で出している広報ふじかわをお読みになつたことがありますか

来る度に読む五五・一％

時々読む　三七・四％

ほとんど読まない　五・七％

全然読まない　〇・九％

記入なし　〇・九％

（読まない人に伺います）

なぜ読まないのですか

家に来ないから六・七％

面白くないから　二・三％

ひまがないから　一三・三％

来たのを気がつかないから　一三・三％

自分で買うから　四〇・〇％

その他　二六・七％

新年度より役場事務分掌が変りました

新年度の四月一日より、役場事務担当者の一部が変りました。主な事務の内容と担当者は左記の通りですからお知らせします。

▼庶務課　（六名）

課長　大久保芳夫

補佐　望月芳己

管理係　大久保芳夫

庶務係　望月芳己

文書係　勝呂ツル

議会選挙係　佐藤弐巳

統計広報係（兼）望月芳己

清洋子

▼会計課　（三名）

課長　渡辺勝

財務係　渡辺勝

斎藤資子

出納係　坪内永子

▼土木課　（八名）

課長　芦川藤雄

補佐　望月義信

庶務係　二又川道江

北村八千代

芦川藤雄

土木係　久保田忠作

建築係　佐山繁雄

水道係　望月義信

錦織正味

望月三郎

▼産業課　（六名）

課長　加藤勲

補佐　池田留吉

農委係（兼）加藤勲

（兼）池田留吉

（兼）望月宣男

農産係　加藤勲

土地改良係　池田留吉

土地商工係　望月宣男

若月喜代子

経済係　加藤すみ子

▼民生課　（十二名）

課長　平田広寛

風間清治

厚生係　平田広寛

明石照子

国民年金係　丸山博康

（兼）明石照子

林勝

戸籍係　西尾静江

加藤せつ子

衛生係（兼）風間清治

斎藤操

国保係　風間清治

渡辺忠治

清泰二

鈴木みゑ

（六名）内矢一

消防係　若月三郎

税務係　（七名）

課長　望月計夫

補佐　佐野正豊

庶務管理係　望月計夫

木引徴収係　佐野正豊

町民税係　池谷熊夫

山田貞子

固定資産税係　斎藤博

教育委員会

教育長　塩坂幾次郎

社教課長　小沢素良

事務局学校教育係（兼）小沢素良

社会教育係　小沢素良

（公民館長）

（図書係）　水上政江

支所長　鹿治

支所（松野支所）（四名）

神戸鹿治

庶務係　神戸鹿治

戸籍係　神戸昶

望月昶

収納係　上野君江

字佐美英子

野沢晋

（兼）小沢天野久雄

山下和子

久保田安男

大木靖也

▼分室（財産処理担当）

（二名）助役―直輔